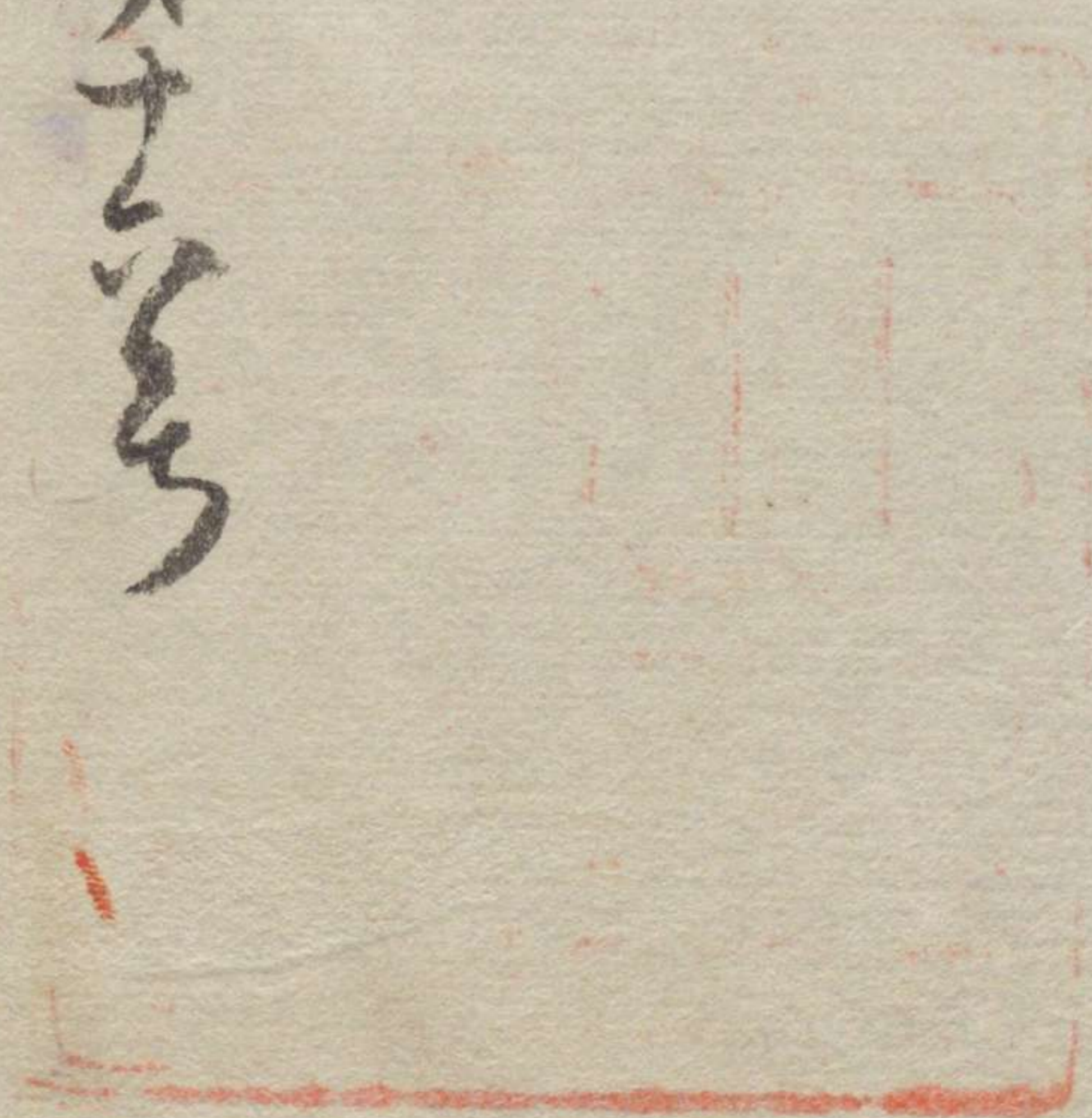
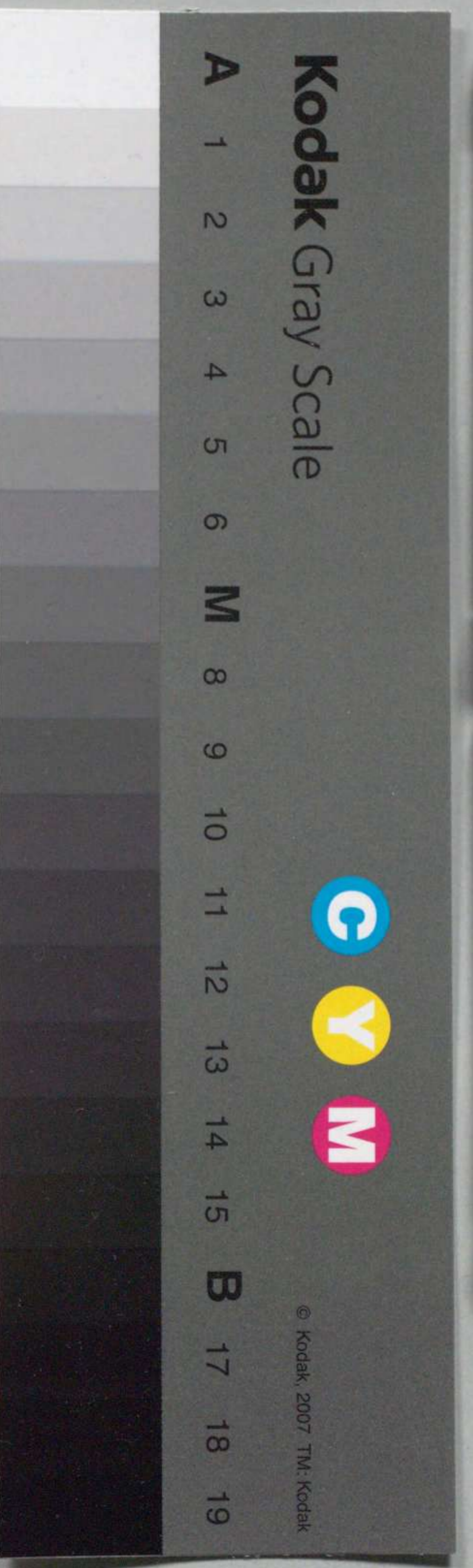


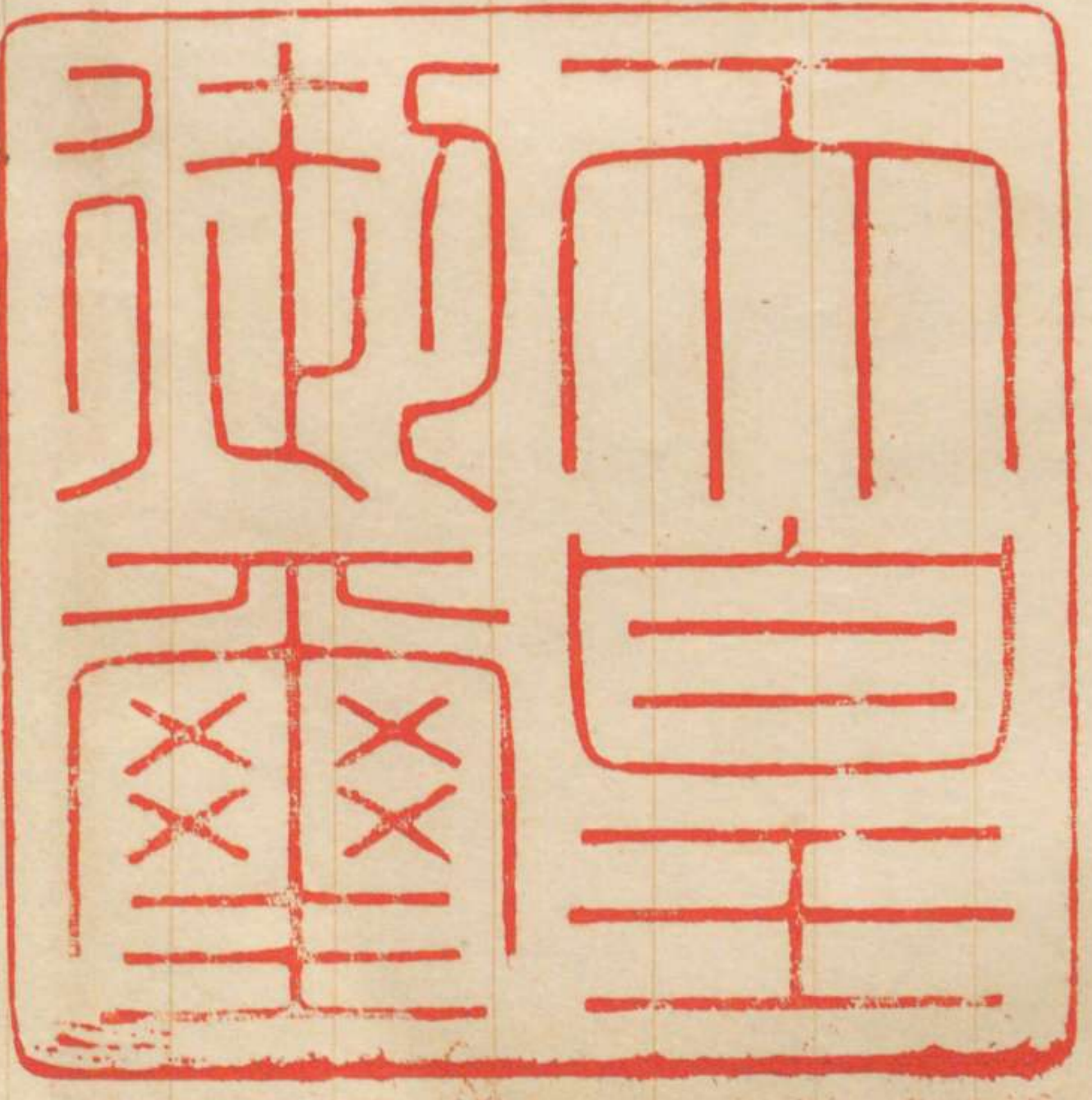
法華經十卷





朕帝國議會ノ協賛ヲ経タル造船奨勵法
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十九年三月二十三日

局

内閣總理大臣臨時代理

樞密院議長伯爵

黒田清隆

逋信大臣

白根專一

法律第十六號

造船獎勵法

第一條

帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ

社負若ハ株主トスル商事會社ニシテ

逋信大臣ノ定ムル資格ヲ備フル造船

所ヲ設ケ船舶ヲ製造スル者ニハ此ノ

法律ノ規程ニ依リ其ノ製造船舶ニ對

シ造船獎勵金ヲ下付ス

第二條

此ノ法律ニ依リ造船獎勵金ヲ

受クヘキ船舶ハ鐵製又ハ鋼製ニシテ

内

閣

總噸數七百噸以上ヲ有シ通信大臣ノ
定ムル造船規程ニ從ヒ其ノ監督ヲ受
ケ製造シタルモノニ限ル

第三條 造船獎勵金ハ總噸數七百噸以
上一千噸未滿ノ船舶ニ在テハ船體總
噸數一噸ニ付金十二圓一千噸以上ノ
船舶ニ在テハ一噸ニ付金二十圓ヲ支
給シ其ノ機關ヲ併セ製造シタル場合
ニハ一實馬力ニ付金五圓ヲ増給ス但
シ帝國內ノ他ノ工場ニ於テ機關ヲ製

造セシメク
ノ許可ヲ但

雖豫メ通信大臣
亦同シ

第四條 造船
船體及機關ニハ
信大臣ノ定ムル規
程ニ依ルノ外外國
製品ヲ供用スルコ
トヲ得ス

第五條 詐偽ノ所為
ヲ受ケタル者ハ一年以上五年以下ノ
重禁錮ニ處シ二百圓以上千圓以下ノ
罰金ヲ附加ス其ノ因テ得タル造船獎

總噸數七百噸以上ヲ有シ通信大臣ノ
定ムル造船規程ニ從ヒ其ノ監督ヲ受
ケ製造シタルモノニ限ル

第三條 造船獎勵金ハ總噸數七百噸以
上一千噸未滿ノ船舶ニ在テハ船體總
噸數一噸ニ付金二圓一千噸以上ノ
船舶ニ在テハ
給シ其ノ機關併シ製造シタル場合
ニハ一實馬力ニ於テ機關ヲ製
シ帝國內



造セシメタルトキト雖豫メ通信大臣
ノ許可ヲ得タルトキ亦同シ

第四條 造船獎勵金ヲ受クヘキ船舶ノ
船體及機關ニハ通信大臣ノ定ムル規
程ニ依ルノ外外國製品ヲ供用スルコ
トヲ得ス

第五條 詐偽ノ所為ヲ以テ造船獎勵金
ヲ受ケタル者ハ一年以上五年以下ノ
重禁錮ニ處シ二百圓以上千圓以下ノ
罰金ヲ附加ス其ノ因テ得タル造船獎

勵金ハ之ヲ償還セシム

前項ノ罪ヲ犯サムトシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ依リ處断ス

第六條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法數罪俱發ノ例ヲ用ヅス

第七條 前二條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其所為ヲ為シタル業務擔當ノ任アル社員若ハ取締役ニ之ヲ適用ス

第八條 此ノ法律ハ明治二十九年十月

一日ヨリ十五箇年間之ヲ施行ス

